

東京都新宿区北新宿1-8-16  
東京土建一般労働組合  
電話03 (5332) 3971 (代表)  
FAX03 (5332) 3972  
発行人・編集人  
吉川 豊

印刷部数10万9300部  
(購読料は組合費のなかに含まれています)  
(年間購読料 千八百円)  
定価 五十円



東京土建のホームページ http://www.tokyo-doken.or.jp/

町場の未来を  
組合の発信力で  
住民の命を守る耐震耐火の  
街づくりは町場の技術は欠  
かせない。組合の発信力で実  
現すべきだ、との提言です。  
設計者の会の学習会での講演  
録をぜひお読み下さい。  
(関連記事3面)

今年11月まで延長して取り組まれた秋の仲間をふや  
す月間、拡大月間が終了しました。全部の仲間の奮闘で  
最終的には目標達成支部を27支部として、12月の中央執  
行委員会にてダルマの目入れが行なわれました。

【本部・榎山剛志組織部長 榎高騰、資材不足・供給停止  
記】秋の拡大月間は、9月、から困窮する仲間を守るた  
め、「建設ク  
ション」と拡大  
運動を一体に、  
誰一人取り残さ  
ない運動、そし  
て群・分会の機  
能回復・再活性  
にむけ奮闘して  
きました。

## 目標上回り11万堅持 仲間に声かけ昼夜の奮闘

この月間は、  
コロナ禍のなか  
で、積み重ねた経験を發揮し、  
異常な円安の進行のなか、物  
あつた支部もありました。  
一方で、事業所の仲間も含  
め、複数の  
支部では、「原  
油価格・物価高  
騰補助制度」三  
育て世代の支  
援」等など、切  
実な諸要求を勝  
ち取った成果を  
仲間へ還すなか  
で、運動に確信  
を持ち、参加者  
をふやし明るく  
元気な月間の取  
り組みに発展が  
あつた支部もありました。

### 秋の拡大



左より中村隆幸委員長、榎山剛志組織部長、小番徹書記長

めた結果、組織化の課題では、  
支部・分会役員と書記局が連  
絡を取り合っており、連続した事  
業所訪問でつながりを強めて  
きました。そのなかで参加を  
呼びかけることで事業所従業  
員、外国人実習生の仲間が参  
加し、分会と顔を合わせつな  
がる機会もつくれました。  
急務となったアスベスト対  
策が迫られるなか、仲間の現  
場では所管からの「立ち入り  
調査」が実施されるなど、未  
加入者も含め資格取得・講習  
会に関心が広がり、新たな仲  
間を迎えるなかで、月間拡大  
率3・65%と目標を大きく上  
回ることができました。しか  
し、11万人組織を堅持するも  
1月組織人員の回復には及び  
ませんでした。目標達成27支  
部、全分会目標達成11支部  
1月人員実増・回復は11支部  
となりました。

## 北・西が丘 新組織部長を先頭に 年間実増に向けて最後まで

赤羽駅から程近い、北支部、  
西が丘分会のセンター。分会  
長の栗木末蔵さん、支部副委  
員長の中西昭一さん、分会組  
織部長の三橋利勝さん、分会  
財政部長の小池慶子さんが訪  
問の段取りを整えるなか、牛  
木幸雄さんが明るくいきや  
かに現れました。牛木さんは今  
年から支部組織部長を務める  
分会が誇る若手役員、45歳で  
す。早速、年末拡大の訪問に  
繰り出しました。  
担当書記の和田さんが運転  
するなか、手際よく3軒の仲  
間を訪問しました。1軒目に  
訪れたのは水道工の澤田義行  
さんのお宅。夜の突然の訪問  
でしたが、嫌な顔一つせず  
快く迎えてくれました。牛木  
さんとの親し気なやり取りか  
ら、普段の関係性がわかり  
ます。「年末の30日まで仕事  
が入っている」と語る澤田さ  
んに、資料と支部オリジナル  
グッズの手袋を渡しながら  
「現場で困っている人がいた  
ら、組合が相談に乗るから声  
かけて」とお願いしました。

### ベテランにも 表敬訪問

3軒目には、元分会書記長  
の大山の佐藤栄一さんのとこ  
ろへ表敬訪問。長い付き合い  
となる和田さんとは気心しれ  
た間柄。「仕事は大したこと  
ない」と言いながらも「誰か  
いれば必ず入れるよ」と答  
えてくれました。ただ、厚生年  
金や労災保険の完備が進み、  
現場で職人に声をかけづら  
くなった、とも。最後に分会の  
新年会の日程をお知らせして  
センターに戻りました。  
三橋さんが報告書をまとめ  
るかわらで、翌日の最終行  
動にむけて、ちょっとした  
反省会。弾む会話の中心には  
牛木さん、中西副委員長も期  
待を寄せています。途中、支  
部の小池正樹書記次長も少し  
だけ顔を出してくれました。  
101人の分会ながら多くの  
支部役員を輩出する西が丘  
分会。家族的なまとまりの良  
さを發揮して、年間実増にむ  
けて最後までがんばります。



澤田さんと談笑する担当書記の和田さん (左) と組織部長の牛木さん (中央)

## 新宿支部新会館の設計者募集 デザインコンコンへ開催

東京土建新宿支部は「新会  
館」の設計者を募集し、デザ  
インコンコンを左記の内容で開  
催します。  
【対象】  
2022年12月1日現在、  
東京土建の組合員であるこ  
と。 ※組合費の滞納が無いこ  
と。  
【要件】  
①一級又は二級建築士である  
こと。  
②建築士事務所登録を行なっ  
ていること。又は実施設計を  
できる環境にあること。  
③建築士賠償責任保険に加入  
していること又は実施設計時  
加入可能な環境であること。  
【応募の申し込み締切】  
2023年1月25日(水)  
までに、新宿支部事務所へ応  
募用紙をご提出ください。募  
集要項、応募用紙は新宿支部  
のHPからダウンロードでき  
ます。  
【連絡先】  
東京土建新宿支部  
住所/東京都新宿区北新宿4  
-33-9 新ビル  
電話03333622161  
FAX03333622289

メール  
shinjuku@tokyo-doken.or.jp  
担当者/角谷・川江  
【設計概要説明・設計デザ  
イン提出締切】  
全体説明会/1月27日(金)  
19時、新宿支部会館(ZO  
OM併用)  
※設計デザインは、2月22日  
(水)までに提出ください。  
(サイズや形式は問いません)  
【選考・審査】  
2023年2月28日(火) 19  
時、新宿支部会館4階  
※会館建設検討委員会にて  
【賞金額】  
1位10万円、2位5万円、3  
位3万円  
※建て替えず、移転の可能性  
が若干あります。  
【現在の支部会館の概要】  
鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋  
根地下1階付4階建  
1階85・78㎡、4階、地下1  
階91・33㎡、地積144・49  
㎡(約43坪)

## 朝やけ

■年明けの箱  
根駅伝で連覇を  
狙う青山学院大  
学の原監督よ  
り「ピース大作  
戦」なるものが発令された。  
二連覇と平和のピースをか  
けたのだという。「箱根駅  
伝もサッカーW杯もスポー  
ツは平和であってこそ選手  
は輝く。平和に感謝して競  
技に臨む」との言葉に少し  
気持ちが明るくなった。せ  
ひ正々堂々競い合って、作  
戦通りに、ピースサインで  
優勝のゴールテープを切っ  
てほしいと思う。

### スポーツ関係者が、そ の土台となる平和について

公の場で言及するのは当然  
だ。サッカー日本代表の吉  
田麻也主将は「世界で唯一  
の被爆国として、僕たち日  
本人がもっと声を大きくし  
て世界に訴えていかなけれ  
ばいけない」と発信した。  
今年の3月、ピッチでワー  
ルドカップ出場を報告する  
セレモニーでのことだ。も  
っと色々な競技の選手たち  
が積極的に発言してもいい  
のではないか。

### ■今年も残りわずか。思 い残すことはあるだろう。

仕事で掲げた目標には近づ  
けただろうか。家族との関  
係は上手くいったか。そし  
て賃上げの課題、組織の拡  
大強化は。群長に言われた  
ハガキは書いたか。クリス  
マスのプレゼントは用意し  
たか。いずれにせよ、平和  
への願いと共に、ゴールに  
向かってがんばった自分自  
身をねぎらって、ピースサ  
インで今年を終えよう。